

基本語力を鍛える

英語の基本動詞 (動画解説付き)

田中茂範(著)

はじめに

ここで紹介する基本動詞は、見慣れたものが少なくないと思います。基本動詞とは、英語表現の基盤になる動詞ということで、英語を使うあらゆる局面で大変によく使われる動詞のことをいいます。take, break, catch などの動詞を言います。この小さな動詞たちが持つ表現力は絶大なものがあります。基本動詞を使い分けつつ、使い切ることを目指そうというのがこのテキストの狙いです。ここで学ぶ基本動詞を使う力を身につけると、みなさんの英語力は大きく向上すること間違いなしです。基本動詞を使えるようにするには、どのような学び方が有効でしょうか。例えば take を取り上げて、辞書を引いてみると、たくさんの意味が載っています。それをひとつひとつ覚えるとなると、それ自体が大変な作業になるし、他の動詞との違いがわからなくなってしまいます。例えば、hold に「もつ」という意味が載っていますが、have をみても「もつ」がでてきます。ここで提案する学習の方法は、コア学習法と呼ばれます。コアとは、それぞれの動詞の持つ「本来の意味」（本質的な意味）のことを言います。そして、どの動詞にも 1 つのコアがあります。このコアを理解することが、hold や have の本来の意味を知ることです。では、辞書に書かれている意味は何かということですが、それは、hold なら hold が使われる状況を表現したものです。

コア学習法では、個々の動詞のコアをイメージで捉えます。その上で、コアイメージがさまざまな状況に使われるということをシミュレーションしていきます。いろいろな状況の背後にコアイメージが働いていることを知ることで、hold と have の意味の違いが分かってきます。コアを抛り所に、いろいろな状況に適応する力を身につけるだけでなく、意味的に類似した動詞との違いを知ることに繋がります。豊かな基本動詞の意味世界を味わってください。

なお、本書には動画解説が付いています。関連動画には QR コードを付けていますので、必要に応じて利用するようにしてください。

田中茂範
PEN 言語教育サービス代表
慶応義塾大学名誉教授

目次

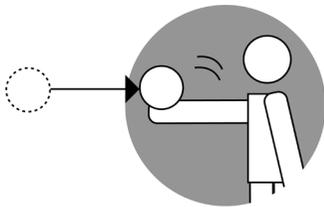
TAKE の世界	4
GIVE の世界	8
GET の世界	12
HAVE の世界	15
HOLD の世界	17
KEEP の世界	20
MAKE の世界	23
BREAK の世界	25
CUT の世界	28
BE の世界	30
PUT の世界	32
SET の世界	34
CATCH の世界	36
GO の世界	39
COME の世界	42
RUN の世界	44
CARRY の世界	48
BRING の世界	51

DO の世界	54
LOOK&SEE.....	57
SPEAK&TALK	61
SAY&TELL	64
HIT&STRIKE	67
LISTEN&HEAR	69
THROW & CAST	71
PUSH & PRESS	74
PULL & DRAW	77
FALL & DROP	80
CLEAR & CLEAN	82
REMAIN & STAY	84
LAY & LIE	86
SPREAD & EXTEND	88
CLOSE & SHUT.....	91
LIFT & RAISE	93
押さえておきたいその他の重要基本動詞	95
EXERCISE	103

TAKEの世界

「take の意味を知っていますか？」こんな質問をすれば英語を勉強した人であれば、ほぼ間違いなく YES と答えるでしょう。しかし、この take を使い切るとなるとなかなか大変です。辞書で引くと、take には「手にとる」「獲得する」「写真を撮る」「体温を測る」「乗り物に乗って行く」「連れて行く」「占拠する」など、いろいろな意味がリストされています。

しかし、これらが take の「本来の意味」というわけではありません。take の本来の意味——「コア」と呼びます——は「主語が何かを自分のところに取り込む」というものです。



例えば、He **took** the passage from the Bible. だと「彼は聖書から一節をとった（引用した）」ということですが、聖書から自分の文書に取り込んだという感じですね。Mary **took** first prize and gave a speech. の場合はどうでしょうか。これは「メアリは一等賞をとり、スピーチをした」ということですが、一等賞を受け取る（自分のところに取り込む）という意味です。He doesn't **take** bribes.だと「彼は、賄賂は受け取らない」ということですね。そして「取り込む」というイメージは She's going to **take** some cold medicine.（彼女は風邪薬を飲もうとしている）という状況でも使われます。

では He is **taking** a picture of Mt. Fuji. の場合はどうでしょうか。「写真を撮る」と「自分のところに取り込む」とは無関係のように思われるかもしれませんが、富士山に向けてカメラを構え、シャッターを押す、

すると、山の景色がカメラに取り込まれると考えることができます。だからtake a picture なのです。

一方、Let me **take** your temperature. の「体温を測りましょう」はどうでしょうか。「写真を撮る」と「体温を測る」は日本語でみると無関係な表現のように思えますね。でも、英語では take が共通して使われています。

「体温を測る」の場合は、体温計を当て、体温を数値として体温計に取り込むというところに take が生かされているのです。つまり、take a picture と take one's temperature には共通のイメージがあるということがわかりますね。

I **take** the train to work. は「仕事には電車に乗って行く」という意味合いですが、この take the train は「交通手段としてバスや自動車ではなく、電車を選択肢として自分のところに取り込む(=選ぶ)」ということです。

Take me to the ballpark. は「私を野球場に連れて行って」という意味ですが、この take も、イメージとしてはある人が私の手を取って(つまり、取り込んで)、そして野球場まで移動する、ということです。**Take** me and go to the ballpark. と表現することもできます。Don't forget to **take** an umbrella when you go out. (出かけるときは傘をもっていくのを忘れないで)も「傘を手にして出かける」ということです。

take には It **takes** three hours to get there.という言い方があって、「そこに行くのに 3 時間かかる」の意になります。この「時間を必要とする」という take も、どこかに行くということ、そのことが時間として 3 時間分を取り込むというイメージから 3 時間を要する、必要とするという意味になるのだと考えるとすんなりと理解できると思います。I can't **take** it anymore. は「もう我慢できないよ」という意味です。もうこれ以上取り込めないということです。

take a walk（散歩する）、take a break（一休みする）、take a look（ちょっとみる）などの使い方がありますが、これは、a walk, a break, a look という行為を取り込むということです。

最後に、The plane **took** off.（飛行機が離陸した）はどう解釈すればよいでしょうか。これは、「飛行機が自らを取り込んで（車輪を取り込むイメージ）地面から離れる（off the ground）」ということです。



いずれにせよ、take の背後には、「何かを自分のところに取り込む」というイメージがあるということがポイントです。

理解チェック

- 1) take のコアイメージは？ 口頭で述べなさい。
- 2) take を使って状況を英語にしよう！
 1. 熱のありそうな人に、「熱を測ってあげよう」と英語で声をかける。
 2. 「今日はタクシーを使って会社までいく」という状況を英語で表現。

3. 「野球場に連れて行って」と子供が親にねだる。
 4. 何かを言って相手の気分を害したみたい。「それを個人的に受け取らないでね」と慰める。
- 3) 以下の英文はどういう意味合いだろうか。take の使い方に注意しながら、考えてみよう。
1. It's a five-year contract or nothing. **Take** it or leave it.
 2. I **take** it that you'll be paying me at the end of the month.
 3. It's my policy to **take** things easy.

解答：

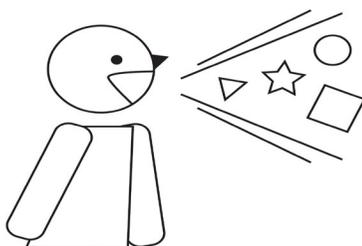
- 1) take のコアは自分のところに取り込むという感覚。
- 2)
 1. Let me **take** your temperature.
 2. I'll **take** the taxi to the office today.
 3. **Take** me to the ball park, please.
 4. Don't **take** it personal, OK?
- 3)
 1. 5年契約以外は断じて結べない。承諾するもしないもそちらの勝手だ。
 2. 月末には支払っていただけるものと考えております。
 3. 物事を気楽に受け止めるのが私の主義だ。

TAKE の関連動画はここを SCAN



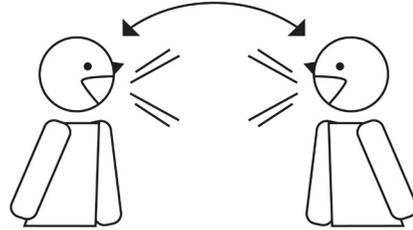
speak も talk も「話す」と訳されます。違いは何でしょうか。電話がかかってきた場面で本人が出た場合、「私です」という際に talking ではなく speaking と答えます。一方、「金がモノをいう」という比喩的な表現がありますが、それを英語では Money **talks**. といい、Money **speaks**.とは言いません。

「言語音を出す」というのが speak のコアです。



そこで、She **speaks** Chinese. だと「彼女は中国語を話す」という内容になります。電話で「私です」と答えるには **Speaking!** と言います。Can I talk to John? という相手に対して、電話口に出た人が John なら、This is John **speaking**. となり、Speaking.はその省略形です。「話す声がすてき」という場合も She has a nice **speaking** voice. (彼女はいい声をしている) と speak を用います。音の出し方に関係があるからです。speak には一方向性があり、Let him **speak** for himself. といえは「彼に自分の意見を言わせよう」ということです。大統領がテレビなどで国民に話しかけるときも speak を使い、Tonight the President will **speak** to the nation on TV. (今夜、大統領がテレビで国民に話しかけます) のように使います。

一方、talkのコアは、「言語でやりとりをする」ということで、a talk show（トーク番組）や summit talks（首脳会談）などではやりとりの部分が活かされています。



Money **talks**.（金が物を言う）の場合、状況的に「交渉」が含まれるため talk がよいこととなります。ある問題について話し合おうだと Let's **talk** about the matter. と言いますが、遣り取りが前提の場合には talk を使います。なお、talk は言語音でなくても手話でもできるため “talking without speaking”（歌 Sound of Silence から）という表現が可能となります。

My baby starts **talking**. だと「コトバを使ってやりとりをするようになった」ということです。



「オウムがしゃべる」だと、一方的に言語音を真似るだけなので My parrot **speaks**. となりますが、言葉を理解して会話相手になってくれると飼い主が考えていけば、My parrot **talks**. となるでしょう。現在は、頻度的には、My parrot **talks**.のほうが多いかもしれないですね。「口答えする」はやりとりが関与することから talk を使い、You just listen to me. Don't **talk** back. (私の話を聞きなさい。口答えはしないで) のように表現します。なお、独り言は英語では talk to oneself といい、Stop **talking** to yourself. (独り言を言うのはやめて) のように使います。

相手が Let's dine out tonight. Dinner is on me. (今夜、外食しよう。ぼくのおごりだよ) と言ったのに対して、Now you're **talking**. と応じれば「いいこと言うねえ」といった感じです。Look who's **talking!** といえば「誰に向かって話しているんだ、お前は何様だと思っているんだ」といった感じですね。

SPKEAK&TALK の関連動画はここを SCAN

